

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	災害に強いまち
基本施策名	防災体制の充実

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	麻田 英了
評価者	都市建設部	部長	坪田 浩昭

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	本市は高低差のある地形で複合扇状地に集落を形成していることから、台風や異常気象などによって災害が発生しやすい状況にあり、それに備えるために水防資機材を水防倉庫に保管し管理しています。
基本方針 (目指すべき方向性)	防災・減災対策を充実させるとともに、市民の防災意識を高め、地域が主体となって防災活動に取り組むまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課
防災訓練参加者数	人	9,294	12,000	8,143	2,554	2,093	17.4	停滞	危機管理課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性		正規職員数
1	0108360	水防倉庫施設管理事業	維持担当	1,120,827	1,222,206	1,186,004			3,529,037	施設の管理運営	継続	A	現状のまま実施することが適当	0.2	
合計				1,120,827	1,222,206	1,186,004			3,529,037						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	災害発生時の水防資機材の確保は重要課題であり、引き続きの取り組みが必要となります。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	第2次安曇野市総合計画の現状を示すデータによると、地震や台風などへの備えができていることが今後重要であると認識している市民の割合が高いことから、引き続き水防倉庫に備蓄する資機材の整備、管理が必要となります。

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	災害に強いまち
基本施策名	治山・治水事業の推進

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	麻田 英了
評価者	都市建設部	部長	坪田 浩昭

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	本市は松本盆地のすべての水が集まる複合扇状地となっていることから、市民が安全に安心して暮らせるよう、準用河川、普通河川について改修や維持を行う必要があります。
基本方針 (目指すべき方向性)	危険個所のパトロールと解消に努めるとともに、自然環境に配慮した治山・治水対策に取り組み、災害に強いまちづくりを進めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課
土砂災害危険個所存在区における避難体制づくりの取組率	%	12.0	48.5	37.5	43.8	43.8	43.8	停滞	監理課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性		正規職員数
1	0108330	河川改修事業	建設担当	6,860,160		990,000	7,350,000	7,350,000	22,550,160	ハード(継続)	継続	A	現状のまま実施することが適切	0.4	
2	0108340	河川維持事業	維持担当	11,301,676	15,182,683	20,695,583	12,534,000	17,922,000	77,635,942	ハード(継続)	継続	A	現状のまま実施することが適切	0.3	
合計				18,161,836	15,182,683	21,685,583	19,884,000	25,272,000	100,186,102						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	令和2年度は、河川内の堆積土砂や支障木の除去、河床整備などの維持工事と、田沢地区において河川改修を行いました。河川を整備、維持することで、集中豪雨や台風などによる河川の氾濫を防止、周辺環境と調和のとれた治水事業を進めます。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	事業実施については、選択と集中による計画的な取り組みが必要となります。

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	事件・事故を防ぐまち
基本施策名	防犯・交通安全の推進

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	麻田 英了
評価者	都市建設部	部長	坪田 浩昭

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	安曇野市交通安全計画に基づき、道路環境を改善し交通事故の防止と交通の円滑化を図るために、効果的かつ効率的に交通安全施設の整備を推進しています。
基本方針 (目指すべき方向性)	防犯や交通安全に対して、一人ひとりが当事者意識を持ち、地域ぐるみの活動が展開される安全・安心なまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課
市内の交通事故(人身事故)発件数の増減率	%	-1.1	-1.1	-2.3	-2.8	-4.5		順調	地域づくり課
市内の刑法犯認知件数	件(暦年)	469	378	350	318	324		順調	地域づくり課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性	正規職員数	
1	0108280	交通安全施設整備事業	維持担当	29,056,644	26,375,992	26,896,595	26,900,000	26,900,000	136,129,231	ハード(継続)	継続	A	現状のまま実施することが適切	0.24	
合計				29,056,644	26,375,992	26,896,595	26,900,000	26,900,000	136,129,231						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	区やPTAからの要望に基づき、緊急性、必要性に応じ効果的な交通安全施設の設置、維持を行っています。子どもを交通事故から守り、高齢者や障がい者が安全に安心して外出できる交通社会を形成する観点から、引き続き交通安全施設整備の取り組みが必要です。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出含)	交通安全施設の整備については、交通安全推進の観点から引き続きの取り組みが必要となります。これからの課題として、限られた予算の中で効果的な事業を展開する必要があります。

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	利便性の高いまち
基本施策名	道路整備の推進

	所属	職名	氏名
作成者	建設課	課長	麻田 英了
評価者	都市建設部	部長	坪田 浩昭

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	本市では「安曇野市道路整備推進計画」に基づき幹線道路を整備しています。また、生活道路は各区からの要望を受けて事業を進めています。
基本方針 (目指すべき方向性)	長期的視点から、道路や橋の整備と老朽化対策を行い、利便性や安全性が確保された道路環境を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課	
市道舗装率	%		75.6	77.5	76.2	76.5	76.7	99	順調	建設課
歩道整備率 (改良済5.5m以上)	%		70.5	72.7	69.4	70.0	70.4	96.8	順調	建設課

施策指標の進捗状況と分析	幹線道路の整備については、社会資本整備総合交付金などを活用しながら、市道の拡幅と歩道設置及び舗装、橋梁の補修を行っております。 生活道路の整備については、各区からの要望に対し、緊急性、必要性、利便性の向上や効果の大きさを総合的に勘案し、20路線の事業を実施し、うち7路線が完了しました。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性		正規職員数
1	0108060	道路維持作業車整備事業	維持担当	2,625,944	2,179,325	1,973,782	7,709,000	3,099,000	17,587,051	施設の管理運営	継続	A	現状のまま実施することが適切	0.1	
2	0108120	道路橋梁維持事業	維持担当	332,143,045	288,664,638	296,069,045	281,900,000	241,900,000	1,440,676,728	ハード(継続)	継続	A	現状のまま実施することが適切	4.81	
3	0108150	除雪融雪事業	維持担当	95,129,041	103,071,173	97,351,017	122,630,000	146,641,000	564,822,231	政策的業務	継続	A	現状のまま実施することが適切	1.3	
4	0108220	市道新設改良事業(市単独)	建設担当	345,955,145	285,411,524	284,198,526	340,000,000	340,000,000	1,595,565,195	ハード(継続)	継続	A	現状のまま実施することが適切	6.8	○
5	0108230	市道新設改良事業(合併特例債)	建設担当	65,099,228	139,008,677	80,641,455	80,000,000	136,000,000	500,749,360	ハード(継続)	継続	A	現状のまま実施することが適切	1.5	
6	0108240	市道新設改良事業(交付金)	建設担当	147,387,690	181,874,580	147,771,889	295,000,000	280,000,000	1,052,034,159	ハード(継続)	継続	A	現状のまま実施することが適切	3	
7	0108250	道路橋梁修繕事業(交付金)	維持担当	136,159,200	118,222,000	99,985,600	172,800,000	177,500,000	704,666,800	ハード(継続)	継続	A	現状のまま実施することが適切	2.29	
合計				1,124,499,293	1,118,431,917	1,007,991,314	1,300,039,000	1,325,140,000	5,876,101,524						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	社会資本整備総合交付金事業、道路メンテナンス補助金などを活用した事業の取り組みについては、道路整備推進計画や舗装維持管理計画、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に事業を進めることで継続して取り組みます。
重点化事務事業の考え方	安曇野市が掲げている「自転車を活用したまちづくり」の実現に向けサイクリングコースを整備することは、観光のみならず日常生活における自転車の利用促進も促し、環境負荷の軽減や健康志向ニーズの対応に有効です。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出含)	道路の整備については、道路拡幅改良など改築系の事業と、歩道を設置して歩行者の安全性を確保する交通安全系の事業、そして、舗装、橋梁などの修繕や除雪といった維持補修系の事業に分類されます。 第2次安曇野市総合計画の現状を示すデータによると、道路整備に関する市民の評価が低いことから、より一層の取り組みが必要となります。